

# 決算審査特別委員 全員で「成果」をしっかりと審査！

9月定例会会期中の9月11日、12日に議員全員で構成する決算審査特別委員会を開催し、令和5年度決算について審査を行いました。

委員長に佐藤幸三委員、副委員長に菅澤博隆委員が選任されました。ここでは質疑の一部を要約してお伝えします。



↑詳しい内容は  
こちらの録画中継から

**萩原宏紀委員** ふるさと寄附金が令和4年度より微減となった主な理由は、**財政課長** 令和4年度比987万円の減。これは、昨年の10月に経費総額が寄付額の50%以内とする制度改正があり、これをクリアするために、寄付額の値上げという形になってしまったことが要因の一つと考えています。

**菅澤博隆委員** 森林環境譲与税の活用方法や使い方の考え方は、**産業経済課長** 災害に強い森づくり事業という制度の中で、重要インフラ近接の森林について倒木等の被害を受けないようにまずは、樹木を伐採しその後中低木を植えて整備する事業です。**石渡悦子委員** 固定資産税の不納欠損額が1000万円増えていますが、その要因は、**税務課長** 法人1件において1000

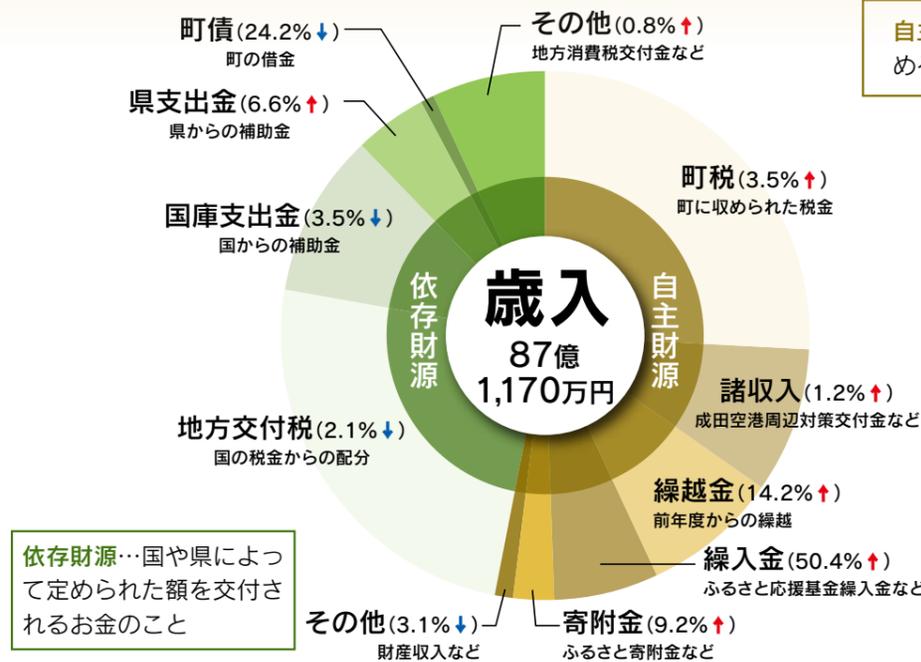
## 一般会計

### 歳入



佐藤 幸三委員長

# 令和5年度 一般会計決算のあらまし



自主財源…地方公共団体が自ら集めることができるお金のこと

依存財源…国や県によって定められた額を交付されるお金のこと

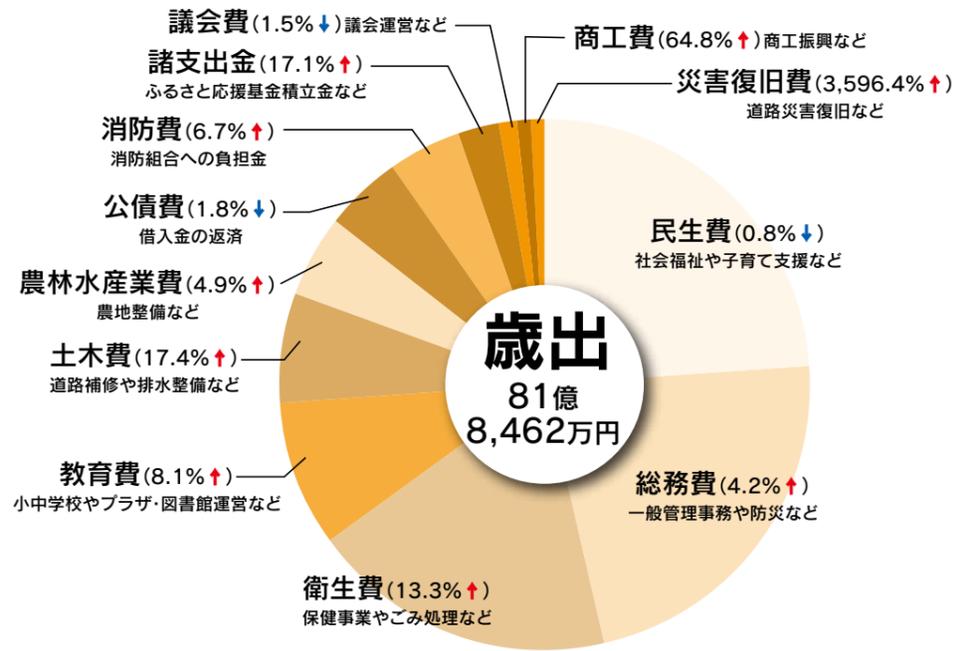
## 町の財政状況は？

**自立力は？**  
自主財源比率 **53.2%** (↑2.2%)  
歳入全体に占める自主財源の割合

**財政力は？**  
財政力指数 **0.529** (↓0.009)  
県内町村平均 0.484  
数値が高いほど自主財源の割合が高く、財政力が強い。

**余力は？**  
経常収支比率 **91.5%** (↑5.8%)  
県内町村平均 88.5%  
経常的な経費に経常的な収入が充当される比率。数値が低いほど財政の弾力性が高く、余力がある。

**借入金の負担度は？**  
実質公債費比率 **5.9%** (↑0.1%)  
標準財政規模に対して借入返済に支出された額の比率。早期健全化基準は25%以上。  
※早期健全化基準とは…早期に健全化、再生の必要があるかどうかを判断するための基準。本町は25%以下のため、支障はない。



※( )内は前年度比 ※県内町村平均はR5のもの

**監査委員の意見** 質の高い事務事業、行政サービスの提供を評価

- 数年来続いていた新型コロナウイルス感染症による影響から徐々に脱却し始めた決算であり、町民の福祉の向上を第一に考えた質の高い事務事業、行政サービスの提供ができたこと認められる。
- 物価上昇や光熱水費等の値上げによる突発的な経費の増加が予想され、財政運営は楽観視できない状況が見込まれることから、限られた資源を経済的、効果的に活用するとともに、財源の確保と適切な未収金対策の実施を。



マイナンバーカードでより便利に

**佐藤利治委員** 土地売却収入について、売却価格は市場価格に適正であったか。  
**財政課長** 基本的には、固定資産の評価額や、近傍地の直近での取引価格をベースに算定しています。  
**飯田良一委員** マイナンバーカードの普及率が昨年度末にかけて非常に高まったが、手数料収入について、住民票などコンビニ交付の状況は、**住民課長** 昨年11月よりコンビニ証明発行手数料を100円引き下げたことの影響もあり、発行件数が前年の2.23倍になりました。役場窓口も含めた証明発行総数の約2割弱がコンビニでの発行です。

**萩原宏紀委員** 地域おこし協力隊報酬について、第1期生が今年度卒業となるが、その方々の今後の予定は、**企画政策課長** 協力隊を退いた後、皆さん町内に定住することになるので、今後の事業などを町と協議中です。



公共交通手段の確保を

**橋本孝之委員** 廃止路線代替バス運行費補助金について、バスのダイヤが不便との声が多い。バス会社に時間の変更などの申し入れはできないか。  
**企画政策課長** 昨年ダイヤ改正があり、便数が減少しています。これは現在のバス事業者の人員不足などによるもので、より使いやすい路線やダイヤとなるようバス事業者と協議していきたいと考えます。

## 歳出